

第5回自治推進委員会の審議事項の要旨

【平成21年7月21日開催】

1 第4回委員会の審議事項等の確認

- ・第4回委員会の審議事項等について確認した。

2 協働の仕組みに係る課題について

<事例の分析>

- ・「川崎フロンターレ連携事業」「かわさきコンパクト推進事業」「多摩区子育て支援パスポート事業」の事例について、関係職員から参加の取組状況の説明・報告を受け、それをもとに意見交換を行った。

3 参加手法等についてのまとめについて

- ・これまで調査審議してきた参加の仕組みに係る事例検証のまとめ、市民参加状況調査の調査結果概要報告、新しい参加手法について、事務局から説明し、それをもとに意見交換を行った。

意見交換の内容

<協働の仕組みに係る課題について>

川崎フロンターレは、市民にとっての愛着や誇り、連帯感という意味でも非常に大きな地域資源であり、地域における効果は大きい。

かわさきコンパクトには、事業者、市民、行政のトライアングルの形成を進めてほしい。そのためには、参加企業が集う場、コミュニケーションする場が重要である。

グローバルな課題をローカルで受け止め、ネットワークを形成していくことは良い。それぞれが孤立しがちな活動が横でつながり、さらにグローバルにつながっていくという意義は大きい。川崎市が自治体として、はじめてグローバル・コンパクトに参加していることに対して、その成果をきちんと発信していく必要がある。

多摩区子育てパスポート事業は、子育て支援に重点をおきつつ、商店街振興にもつながっており、非常に大きな意味を持っている。

身近な場における社会的なネットワークが形成され、地域社会で支えていく仕組みが必要となっているが、商店街では、見守りや声かけ活動も展開されており、非常に立派なCSR活動ともいえる。

協働には、それぞれの参加者にとってメリットがある、ウィン・ウィンのシチュエーションが必要である。

<参加手法等についてのまとめについて>

参加の手法を体系化していくという意味では、参加を進める際のモデルケースを示すことは大きな意味がある。

政策の形成過程において、案を検討する場合は、なるべく多様な意見を取り入れられるよう、ステークホルダーを考慮して、委員会を構成する必要がある。

有識者と一般の市民が分かれて検討を行う場合、どこでその意見をすりあわせるかということが重要である。「こういう場合はこの方式」というような整理ができると良い。

これまで参加が難しいと思われていた分野においても、新しい参加手法を用いるなど、工夫をすれば方法はある。

4 その他 次回の審議事項及び今後のスケジュールの確認

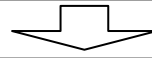
H20年度

H20

11月26日

第1回 自治推進委員会開催

【主な内容】 委嘱状交付、委員長・副委員長の互選、第1期の活動確認
委員会の目的、審議事項、審議の進め方等の確認など



H21

1月20日

第2回 自治推進委員会開催

【主な内容】 参加、協働の仕組みと全体像の把握と課題の検討など
パブリックコメント手続、審議会等の市民委員の参加、
住民投票制度、協働型事業のルール、区民会議



3月16日

第3回 自治推進委員会開催

【主な内容】 参加の仕組みに係る課題の検討など（事例分析：新総合計画、多摩川プラン、地域福祉計画）



H21年度

6月2日

第4回 自治推進委員会開催

【主な内容】 参加の仕組みに係る課題の検討など（事例分析：都市計画マスタープラン、緑の基本計画、鷺沼プール跡地（カッパーク鷺沼）整備）



7月21日

第5回 自治推進委員会開催

【主な内容】 協働の仕組みに係る課題の検討など（事例分析：川崎フロンターレ連携事業、かわさきコンパクト推進事業、多摩区子育て支援パスポート事業）

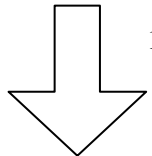
11月11日

講演会開催
「あなたの参加と協働が自治を進めます！」
講師：佐谷和江 副委員長

10月6日

小委員会開催

第2期自治推進委員会の提言の方向性を検討するために開催



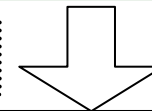
11月16日

第6回 自治推進委員会開催

【主な内容】 第2期区民会議の取組状況について
推進プランの進捗状況の確認
報告書の骨子案の取りまとめなど

12月22日

小委員会の開催
報告書の作成について検討

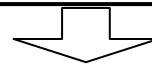


H22

2月1日

第7回 自治推進委員会開催

【主な内容】 報告書の取りまとめなど



3月23日

報告書を市長へ提出